

株式会社電算 2016年3月期第2四半期 決算説明会資料

2015年11月27日

(東証一部 証券コード3640)

www.ndensan.co.jp

I 2016年3月期第2四半期 決算

II 2016年3月期通期 業績予想

III 当社の目指す姿と今後の取り組み

IV 株主還元

売上高 54億43百万円 (前年同期比 4.4%増)
営業損失 2億58百万円 (前年同期は 4億96百万円の営業損失)

- 公共分野

番号制度、臨時福祉給付金対応等の法制度改正対応、財務会計システム導入等により概ね当初予定どおりの売上を確保、利益率の高い法制度改正と原価低減で、増収増益。

- 産業分野

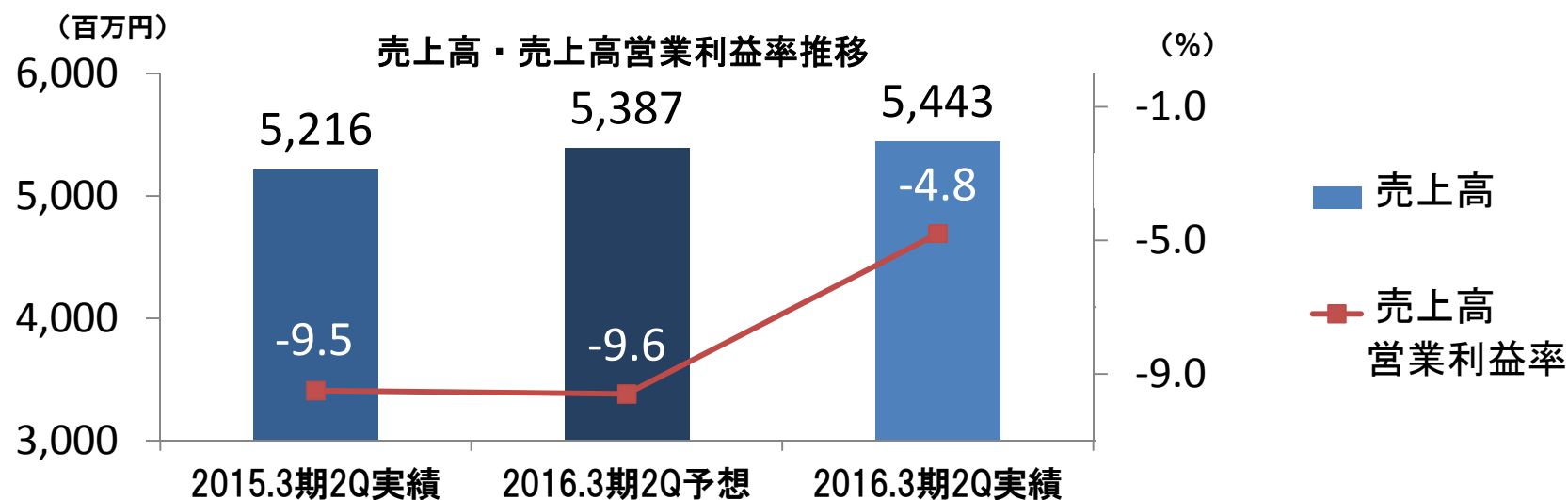
リースタートシステム導入準備及びコンテンツ・マネジメント・システム (CMS) の構築で売上が増加、原価低減により増収増益。

- 全社

マイナンバー関連の新システム (番号Post・番号管理Box・個人番号カード交付管理システム等) の開発とデータセンターサービスの受注活動に注力。

2016年3月期第2四半期 損益計算書

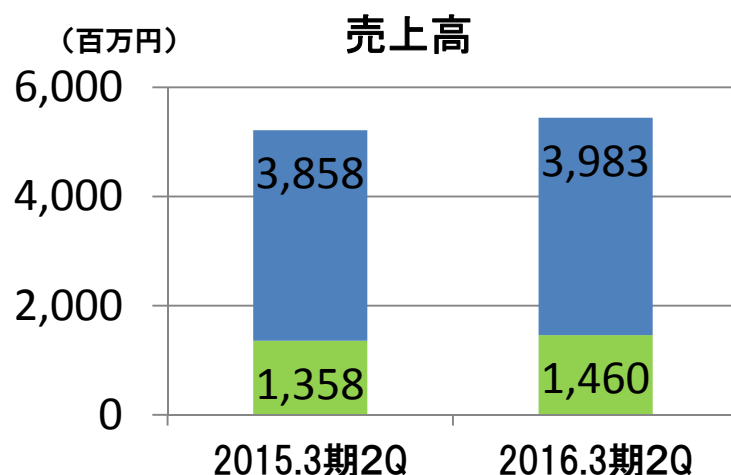
	2016年3月期2Q 実績		2015年3月期2Q 実績		対前年同期増減		2016年3月期 2Q 予想		対予想増減	
	金額 (百万円)	利益 (損失) 率(%)	金額 (百万円)	利益 (損失) 率(%)	金額 (百万円)	率 (%)	金額 (百万円)	利益 (損失) 率(%)	金額 (百万円)	率 (%)
売上高	5,443	—	5,216	—	227	4.4	5,387	—	56	1.0
営業利益 (△は損失)	△258	△4.8	△496	△9.5	238	—	△517	△9.6	259	—
経常利益 (△は損失)	△237	△4.4	△473	△9.1	236	—	△496	△9.2	259	—
四半期純利益 (△は損失)	359	6.6	△325	△6.2	684	—	131	2.4	228	173.8



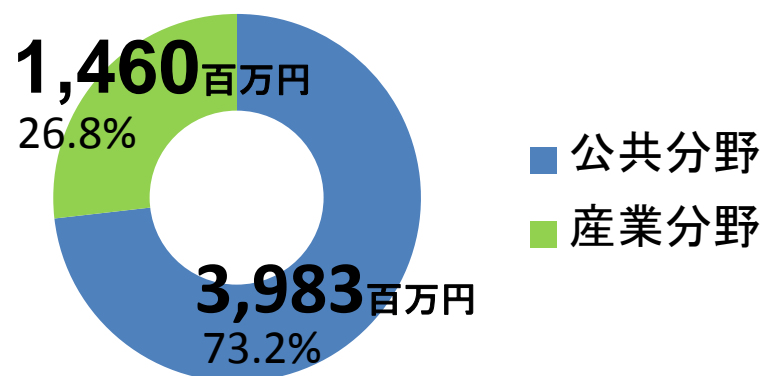
2016年3月期第2四半期 セグメント別損益(営業利益)



		2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減額	増減率
公共 分野	売上高 (百万円)	3,858	3,983	+125	+3.2%
	営業利益 (損失) (百万円)	△253	△116	+137	—
	営業利益 (損失)率 (%)	△6.6	△2.9	—	—
産業 分野	売上高 (百万円)	1,358	1,460	+102	+7.5%
	営業利益 (損失) (百万円)	△250	△138	+112	—
	営業利益 (損失)率 (%)	△18.5	△9.5	—	—



2016.3期2Qセグメント別 売上構成比



2016年3月期第2四半期 業務の種類別損益(売上総利益)



		2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減	
				金額	率
情報処理・ 通信サービス	売上高(百万円)	1,552	1,526	▲26	▲1.7%
	売上総利益(百万円)	456	445	▲11	▲2.4%
	売上総利益率(%)	29.4	29.1	▲0.3pt	
ソフトウェア開発・ システム提供 サービス	売上高(百万円)	2,231	2,635	+404	+18.1%
	売上総利益(百万円)	914	1,200	+286	+31.3%
	売上総利益率(%)	41.0	45.5	+4.5pt	
システム機器等 販売	売上高(百万円)	672	596	▲76	▲11.3%
	売上総利益(百万円)	164	155	▲9	▲5.5%
	売上総利益率(%)	24.4	26.1	+1.7pt	
その他関連 サービス	売上高(百万円)	759	685	▲74	▲9.7%
	売上総利益(百万円)	216	189	▲27	▲12.5%
	売上総利益率(%)	28.5	27.7	▲0.8pt	

I 2015年3月期 決算

II 2016年3月期通期 業績予想

III 当社の目指す姿と今後の取り組み

IV 株主還元

売上高	139億円 (前期比 7.4%増)
営業利益	3億7千万円 (前期比 21.5%減)
当期純利益	7億22百万円 (前期比 320.2%増)

公共分野

- 販売シェア拡大、新サービス研究・企画
- 次期総合行政情報システム研究開発の計画的な推進
- 法・制度改正の着実な対応(番号制度・介護保険制度等)

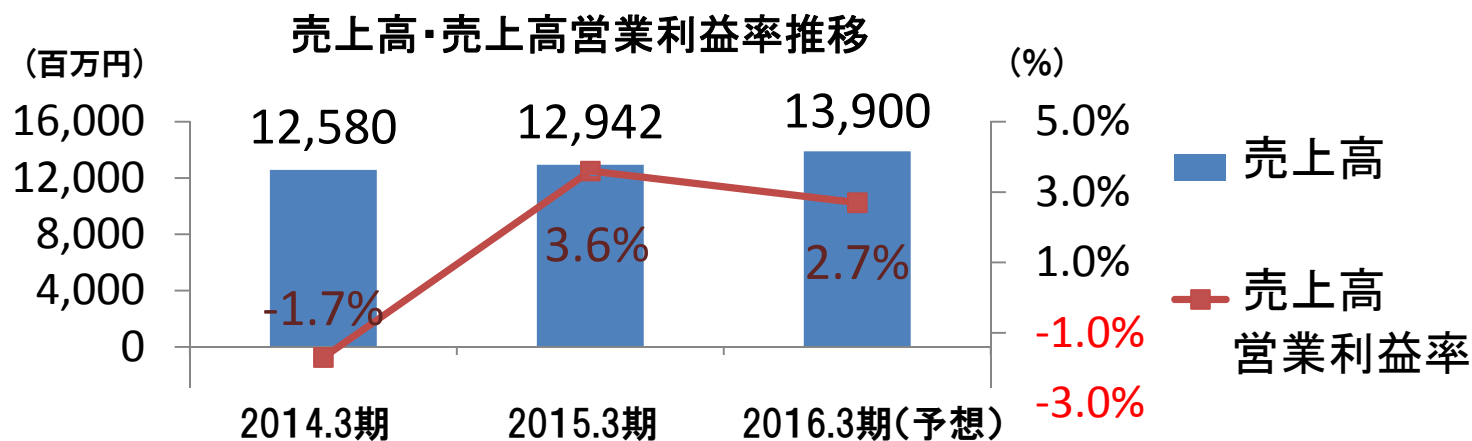
産業分野

- 保有商談の早期受注と新規商談の掘り起こし
 - ・医療福祉、製造流通、地銀系リース分野の大型保有商談の確実な受注
 - ・地銀系リース分野新規顧客受注に向けた活動強化
- 番号制度関連の新商品、新サービスの拡販
- AirCloud等、データセンターストックビジネスの強化

保有株式の一部を売却したことによる投資有価証券売却益を2016年3月期第1四半期に計上

2016年3月期通期 業績予想

	2015年3月期		2016年3月期(予想)		増減	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	率
売上高	12,942	—	13,900	—	+957	+7.4%
売上総利益	4,989	38.5%	4,921	35.4%	▲68	▲1.4%
販管費及び 一般管理費	4,517	34.9%	4,551	32.7%	+33	+0.7%
営業利益(損失)	471	3.6%	370	2.7%	▲101	▲21.5%
経常利益(損失)	487	3.8%	383	2.8%	▲104	▲21.3%
当期純利益	171	1.3%	722	5.2%	+550	+320.2%



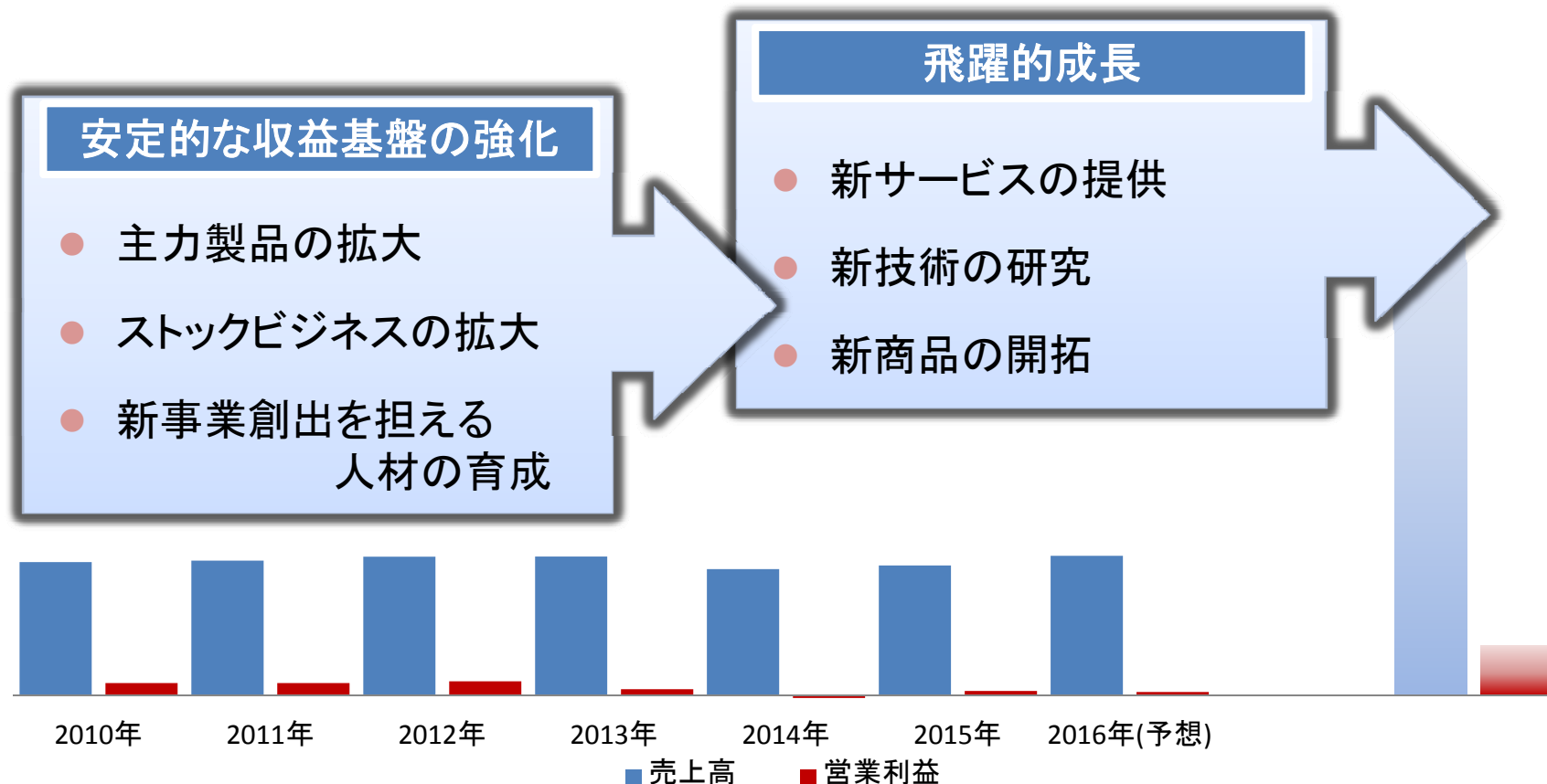
I 2015年3月期 決算

II 2016年3月期通期 業績予想

III 当社の目指す姿と今後の取り組み

IV 株主還元

- 新商品や新技術対応へ積極的にチャレンジする企業
- 開発技術、サービス力、顧客対応力、提案力等、総合力を顧客・業界から評価される企業
- 起業家精神を創発し、新たなビジネスに挑戦する企業



主力製品の 拡大

主力製品の計画的な販売によるシェア拡大

- 次期総合行政情報システムの開発と計画的な販売
- リースパッケージシステムの全国展開
- 番号制度を始めとする、法制度改正への的確な対応

ストックビジネス の拡大

データセンターサービスの拡充によるストックビジネス売上の拡大

- 既存及び新規パッケージシステムのクラウド化推進
- 国内外企業との業務提携及び連携によるデータセンターサービスの拡充

人材の育成

今まで培った事業基盤を活かし、更なる成長に向け、将来の電算を見据えた人材の育成

- 情報セキュリティ分野での人材教育
- アプリケーション開発技術の調査研究と開発技術者の育成
- 海外企業との人事交流、個人学習を含めた語学教育によるグローバル化対応

新サービスの提供

- 情報セキュリティ分野の新たなサービス立ち上げ
 - 情報セキュリティ教育サービス
 - 情報セキュリティ監査サービス
- 番号制度利用拡大に向けた新サービスの提供
 - 2018年以降の個人番号利用拡大に向けたサービス

新技術の研究

- IoT時代を見据えた新技術の研究とサービス化
 - 異業種とのコラボレーションの検討
- 急速に普及するスマートフォンやタブレットの活用
 - スマートフォン向け新アプリの研究開発

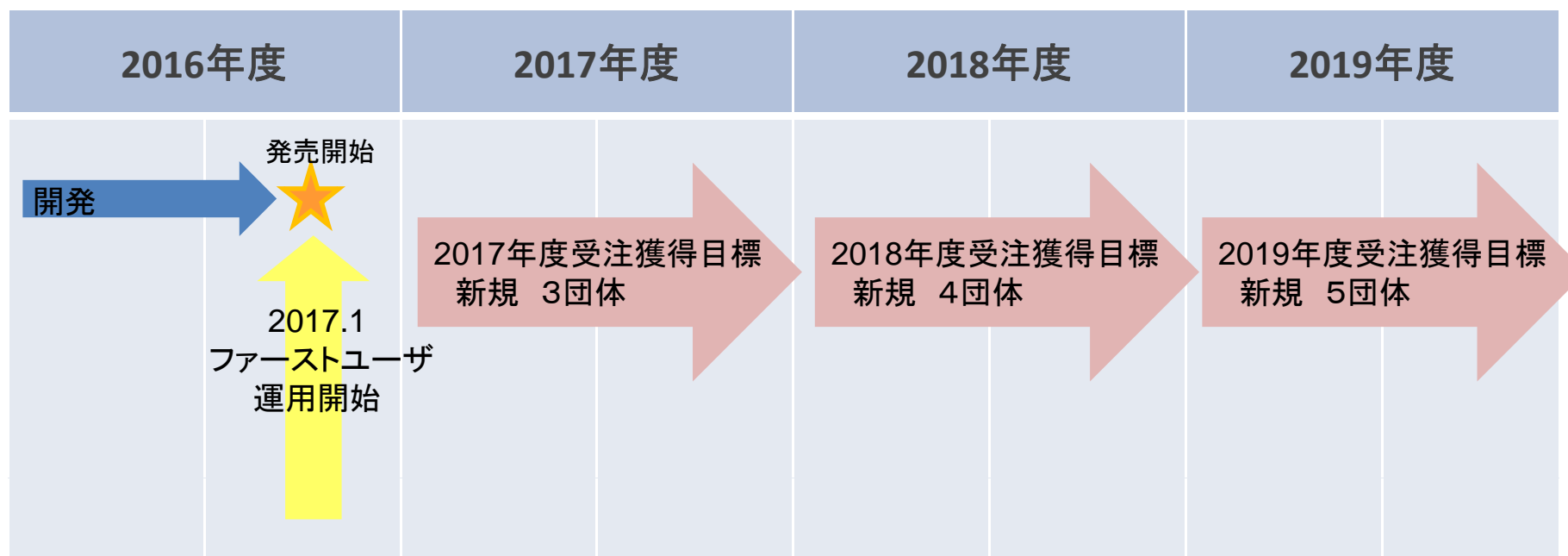
新商品の開拓

- 業務提携による、サービス拡充とマーケット拡大
- 海外商品の仕入れ販売及び海外への自社製品の販売

開発投資内容 (2015年5月13日発表)

- 発売開始時期・・・2017年1月
- 開発のための支出・・・約53億円

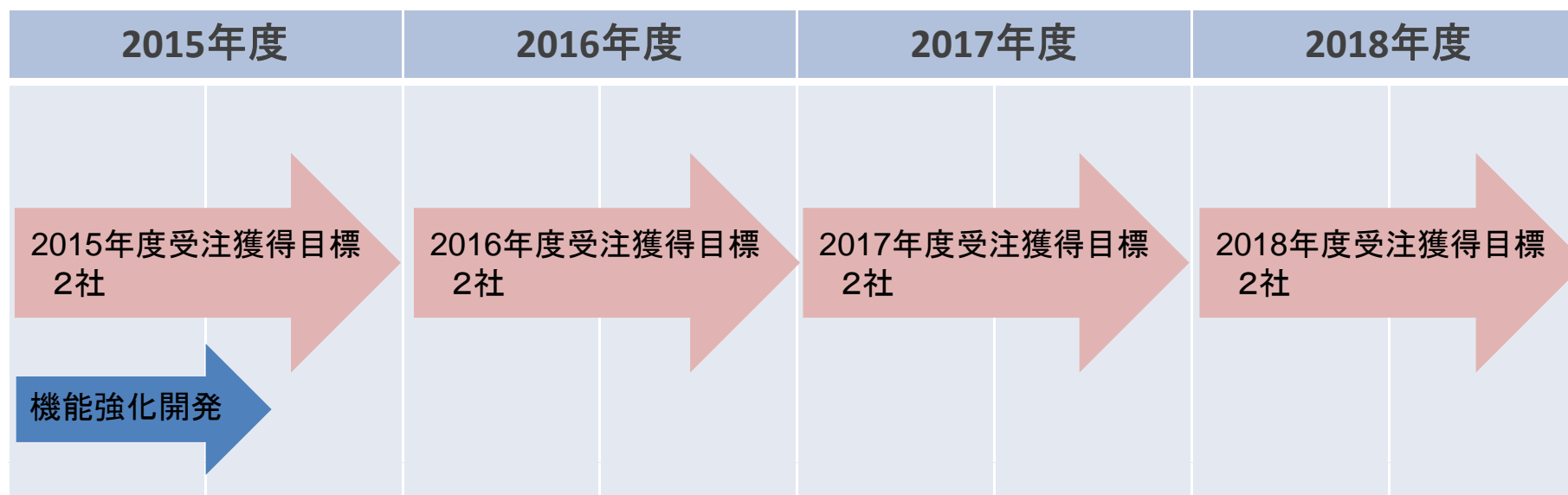
販売目標



リースータルシステムユーザ

- 2015年9月時点の導入ユーザ数・・・6社（導入予定を含む）
- 2018年度末までにパッケージユーザを14社に増やし、パッケージメリットを生かした、安定した売上・利益を確保できるビジネスに成長させる

販売目標



		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
番号制度対応スケジュール	政府が進める 全体 スケジュール		★2015.10 個人/法人番号の付番・通知(通知カード) ★2016.1 個人/法人番号の利用開始・個人番号カードの交付	2017.7 情報連携の開始(地方公共団体)	
	利用範囲	利用確定分野	★ ①社会保障、②税分野、③災害対策分野		
	利用範囲拡大予定 (ニーズを洗い出し、関係府省による具体的検討)	①戸籍事務、②旅券事務、③預貯金付番、 ④医療・介護・健康情報の管理・連携、⑤自動車登録事務			★

- 2016年1月の個人番号利用開始に向け、既存システムの対応を推進
- POST番号制度プロジェクト発令
⇒番号制度に続く、新たなビジネスをスピーディに展開していくため、
継続的な情報収集と新サービスの企画・立案、販売戦略を策定する
- マイナンバーを通知された住民が、個人番号カードの交付を予約できる『個人番号カード交付管理システム』を新たに開発
- 番号制度関連システムの受注活動を更に強化

マイナンバーの収集・利用・提供・破棄のライフサイクルを独立した形で管理できる「マイナンバー対応ソリューション」を提供

番号Post

マイナンバーを簡単、安全に収集！

個人番号カード交付管理システム

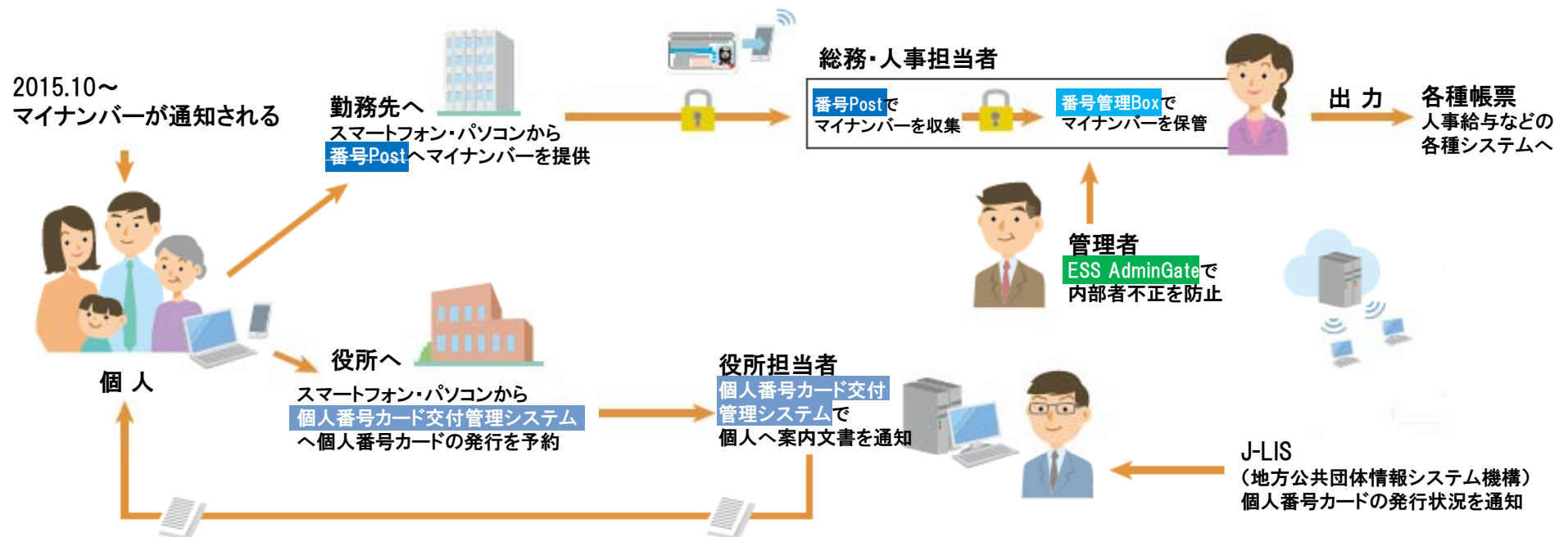
個人番号カードの交付を予約できる！

番号管理Box

収集したマイナンバーを管理・出力！

ESS AdminGate (内部者不正防止対策)

不正アクセス、情報漏えいを防ぐ！



医療機器管理サービス MAViNCloudサービス

10月提供開始

- 医療機関における医療機器の適正管理をサポート
 - 自社データセンターを活用したクラウド型のシステム
 - 独立行政法人 国立病院機構災害医療センターと共同開発
 - 災害時に速やかな医療機器（診療体制）の確保が可能



結婚・子育て支援アプリ

4月提供開始

- ライフステージ(結婚、妊娠、出産、子育て)に合わせた情報を提供
- 増加するスマートフォンユーザが、気軽に地域情報を取得
- 地域イベントやライフステージに合わせた行政手続きの情報確認
- 予防接種スケジュールや健康管理(体重・体脂肪等)も可能



住民の結婚、子育てに関する悩みを
解決して、より住みやすい街にしたい！
という思いから、
住民向けのアプリケーションを
導入・検討する市区町村様が増えています。



Oracle認定Java(※)試験 合格者 (Oracle Certified Java Programmer)

取得資格	合格者数
OCJ-P Gold	9名

高度情報セキュリティ技術者試験 合格者

取得資格	合格者数
CISSP認定試験(※)	2名
情報セキュリティ スペシャリスト試験	5名

2015年11月20日現在

※Java: プログラミング言語のひとつ。

強力なセキュリティ機構や豊富なネットワーク関連の機能が標準で用意されており、ネットワーク環境で利用されることを強く意識した仕様になっている。

※ CISSP認定試験: 国際的に認められた情報セキュリティ・プロフェッショナル認証資格試験。

Java技術者レベルアップ研修

社内/社外	人数/期間
社内	のべ58名/3ヶ月
社外(中国)	のべ26名/3ヶ月

2015年11月20日末時点での研修受講者数

グローバル人材育成

出向先	人数
語学留学研修(フィリピン)	3名/3ヶ月
管理部門の人材育成 (ハワイ等)	1名/3ヶ月
オンライン英会話	のべ43名

社外出向者数

出向先	人数
長野県内市町村	1名
情報セキュリティベンダー	のべ4名

I 2015年3月期 決算

II 2016年3月期通期 業績予想

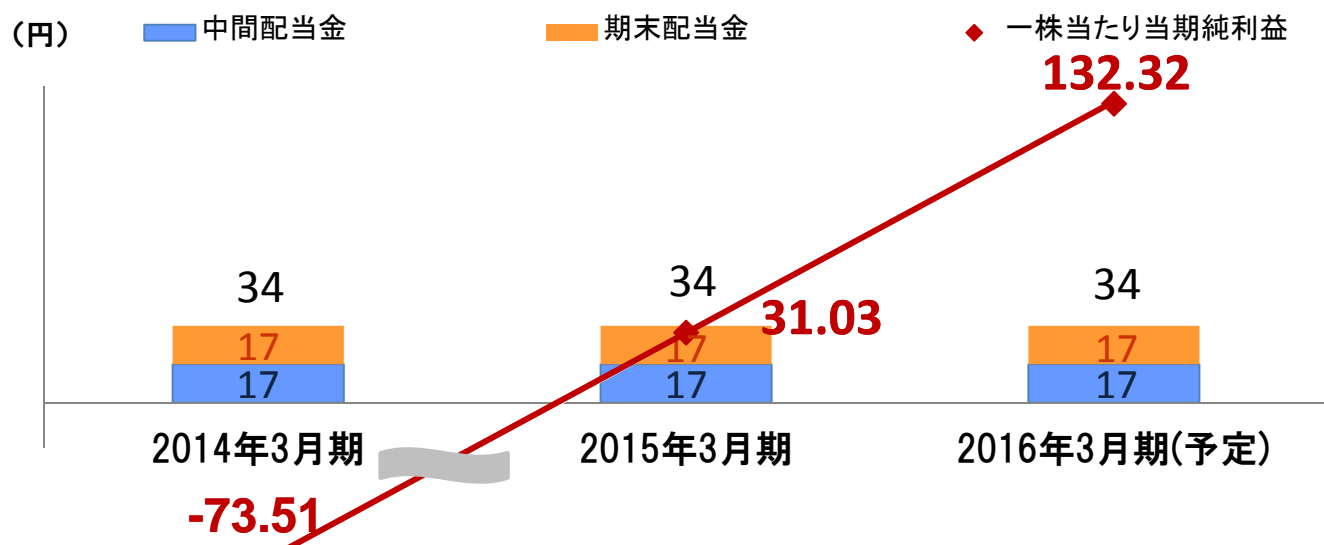
III 現在の取り組みと今後の状況

IV 株主還元

【配当方針】 中間期末、期末の年2回実施

【配当性向目標】 20%以上

1株当たり配当金	2015年3月期実績	2016年3月期
年間配当金	34円	34円(予定)
9月中間期末	17円	17円
3月期末	17円	17円(予定)
(配当性向)	109.6%	25.7%(予想)



4,000円分の三菱UFJニコスギフトカードを贈呈

◆対象株主様

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された
100株以上を保有されている株主様

◆贈呈時期

毎年6月下旬 当社定時株主総会終了後、送付する決議ご通知に同封



本日はご清聴いただき
誠にありがとうございました。

IRに関するお問い合わせ

IRに関するお問い合わせ・ご質問は下記までお寄せ下さい。

株式会社 電算 経営企画部 IR担当 宛て

TEL: 026-224-6666 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除く8:30~17:30の間)

ir@ndensan.co.jp

本資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、作成時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後経済情勢や市場動向の変化等、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料は、当社に関する情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的にしたものではありません。

掲載されている情報を投資、その他の目的に利用することが適切か否かに関する決定は、利用者ご自身の判断で行うよう、お願いいたします。

(参考) 2016年3月期第2四半期 貸借対照表(B/S)



資産の部

(単位:百万円)

科目	2015.3.31	2015.9.30	増減
流動資産	7,880	6,547	△1,333
現金及び預金	1,534	2,460	925
その他	6345	4,086	△2,258
固定資産	9,365	8,680	△685
有形固定資産	7,591	7,385	△206
無形固定資産	230	436	205
投資その他の資産	1,543	858	△684
資産合計	17,246	15,227	△2,018

負債及び純資産の部

(単位:百万円)

科目	2015.3.31	2015.9.30	増減
流動負債	6,810	5,274	△1,535
固定負債	2,810	2,553	△256
負債合計	9,620	7,828	△1,792
株主資本	7,064	7,365	300
評価・換算差額等	561	34	△527
純資産合計	17,246	15,227	△2,018

■ 期末からの増減の主な要因

資産: -2,018百万円

現金及び預金 +925百万円

受取手形及び売掛金 -2,147百万円

投資有価証券 -845百万円

負債: -1,792百万円

買掛金 -204百万円

短期借入金 -700百万円

未払金 -405百万円

純資産: -226百万円

純利益 +359百万円

その他有価証券
評価差額金 -534百万円

(参考) 2016年3月期第2四半期 損益計算書(P/L)



(単位:百万円)

科目	2015.03期 2Q	2016.03期 2Q	前期比
売上高	5,216	5,443	227
売上原価	3,464	3,452	△12
売上総利益	1,751	1,991	239
販管費及び 一般管理費	2,248	2,249	1
営業利益(△は損失)	△496	△258	238
営業外損益	23	21	19
営業外収益	35	35	△206
営業外費用	11	13	1
経常利益(△は損失)	△473	△237	236
特別損益(△は損失)	—	676	676
税引前当期純利益	△473	△439	912
法人税等合計	△148	80	228
当期純利益(△は損失)	△325	359	684

■前期比増減の主な要因

売上高: +227百万円

 公共分野 +125百万円

 産業分野 +102百万円

売上総利益: +239百万円

 法制度改正、生産性向上による原価低減
 で売上総利益が改善

特別損益:

 投資有価証券売却益 +676百万円